



川口市立芝樋ノ爪小学校

川口市芝樋ノ爪 2-10-48

TEL 048-266-5265

芝樋ノ爪小だより 10月号

<https://shibahinotsume.edumap.jp>

令和2年10月1日

めざす学校像「明るく元気なあいさつと笑顔があふれる、きれいで楽しい学校」

新型コロナに関する差別や偏見をなくしましょう

校長 若林 茂

厳しい残暑の中、熱中症に注意しながら子供たちは元気に2学期の学習に取り組みました。「3密」を避けながら、クラブ活動、児童集会、なかよし班活動、PTA読み聞かせなどが始まり、学校のリーダーとしての6年生の活躍の場も出てきました。給食の校内放送では、毎日合唱団の児童が歌う校歌が流れ、1年生も校歌を覚えました。学習面では、理科の授業で事前に撮影した教師実験の映像を大型テレビで視聴したり、市の科学館から講師をお呼びして太陽観測を行ったりしました。また各教科で教科書のQRコードを読み取って授業で活用したり、学校応援団の皆様と一緒に1年生とわかば学級の児童がダイコンの種まきをしたりなど、少しずつ彩りが加わってきました。暑さ寒さも彼岸まで。過ごしやすい季節の中で、感染防止に努めながら彩りある学校生活を進めてまいります。

さて、国立成育医療研究センターが6～7月に実施したインターネットアンケート（全国の子供《7歳～17歳》912名が回答）で、「もし自分や家族がコロナになったら、そのことは秘密にしたい」と答えた子供が32%、また、22%の子供が「コロナになった人とは、コロナが治っても付き会おうのためらう」と答えたことがわかりました。新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見の存在を可視化することを試みたそうです。このことを新聞記事で知ったとき、本校の児童はどう思っているだろう。また、保護者の皆様はどう感じているだろうと頭に浮かびました。感染者数は一時期よりも減少しているようですが、家庭内感染が増加しているようで、誰もが感染する可能性がある状況です。本校では、感染防止に万全を期すとともに、感染者やその疑いがある人などへの差別や偏見をなくし、もし友だちが感染したとしても慌てず思いやりの気持ちで、早く回復するように応援するような雰囲気づくりを進めてきました。そのために、始業式・終業式、講話朝会などで私から児童にこのことを話したり、学級担任から話したりしています。文部科学大臣のメッセージを1学期の終業式に私から児童に読み上げたり、文部科学大臣と県教育委員会教育長のメッセージを本校のホームページで紹介したりしました。2学期の始業式で私から児童に、2学期の目標について話しました。いつもなら、授業日数も多く、過ごしやすい季節で学習に集中しやすく、学校行事も多い2学期ですから、「いろいろなことに挑戦しましょう」などと話をするのですが、今年は何を子供たちに話したらいいのかとても悩みました。そして、「校長先生の2学期の目標は、もし誰かが新型コロナウイルスに感染したとしても、その人が早くよくなるように（みんなで）応援することです」と児童に向けて話しました。本校の児童は、思いやりがあり仲がよい子供たちなので、私の思いが伝わっていると信じています。教室に掲示してある子供たちの2学期の目標を見てみると、「算数をがんばる」「友だちと仲よくする」「忘れ物をなくす」など、いつもと変わらない目標が書いてありました。私が心配しすぎているのかもしれないと感じました。10月の講話朝会では、日本赤十字社のホームページにある「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」（第1の感染症「病気」、第2の感染症「不安」、第3の感染症「差別」）について子供たちに話そうと思っています。本校ホームページに掲載しましたので、保護者の皆様や地域の皆様もぜひご覧ください。

10月は体育の授業参観を予定しています。今年度初めての授業参観です。マスクの着用やソーシャルディスタンス等、感染防止にご協力いただきながら、お子様の成長をご覧ください。